

平成 31 年度 未来づくりキャンパス事業構想（案）

【実施方法】

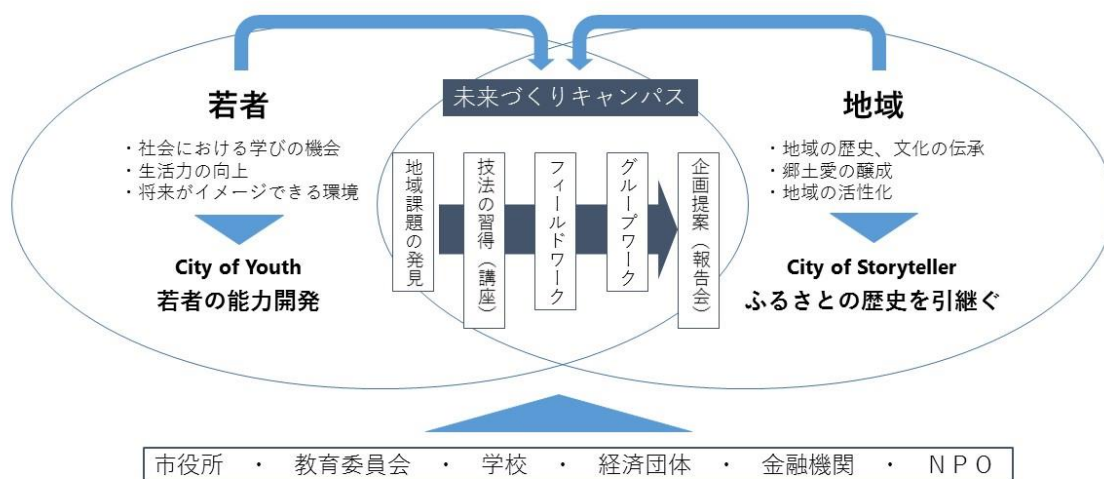
文部科学省のユネスコ活動費補助金「SDGs 達成の担い手育成（ESD）推進事業」の活用を想定。

SDGs や ESD の考えを取り入れ、自らの地域を持続可能に変革していく担い手としての若者の能力開発に、地域ぐるみで取り組む仕組みを構築する。

単なる知識の習得に留まらず、フィールドワークを中心として、自ら感じ、考えることで具体的行動力を養うことのできる人材育成プログラムとする。

【事業目的】

地域や行政、教育機関など多様なアクターの連携による人材育成プログラム「未来づくりキャンパス」を通して、地域社会の担い手としての「若者」の能力開発に「地域」が関わりふるさとの歴史を引継いでいく、持続可能なエコシステムを構築する。



【実施体制】

① 庁内連携

必要に応じて、庁内関係所属課との連携を図る。

- ・ まちづくり支援課（地縁団体との連携）
- ・ 学校教育課（学校教育現場との連携）
- ・ 生涯学習課（社会教育との連携）
- ・ その他、受講生の取組テーマに応じた関係所属と連携

② 地域内外の多様なアクターとの連携

市民、地域（地縁団体等）、事業者、行政、講座修了生など多様なアクターが地域の社会的課題の解決に向けて結集する場として「未来づくりキャンパスラボ」を構成する。

プログラムの実施に直接的、間接的に関わることに加え、中間支援的な役割を発揮し、プログラム実施中はもちろん、実施後の受講生の活動に対して継続的な支援を行う体制を構築する。